

対象校No. 196

注4

学校コード F143110111295

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前相談

注2

熊本大学

工学部

半導体デバイス工学課程

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

国立大学法人熊本大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営企画本部
職名・氏名	カカリインオカムラ ジン 係員・中村 仁
電話番号	096-342-2032
(夜間)	096-342-2032
e-mail	sgo-kikaku@jim.u.kumamoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

工学部

＜半導体デバイス工学課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人熊本大学

(2) 大学名

熊本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カガリ ヒサ) 小川 久雄 (令和3年4月)		
学部長	(イハラ トシロ) 井原 敏博 (令和6年4月)		
学科長等	(マツダ モトヒデ) 松田 元秀 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 半導体デバイス工学課程 学士(工学)	工学関係	4年	20人	2年次 3年次 4年次 人 人 人	40人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期												
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20人 20 (20)	-	-	1.10倍	-	
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	46 (25)	(-)	-			
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	42 (22)	(-)	-			
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	23 (21)	(-)	-			
B	入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	23 (21)	(-)	-			
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.15	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	21	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	44 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				責任・単用	
			必	選	目	教	専	講	助	助		
			修	担	由	師	員	員	員	員		
リベラルアーツ科目	日本社会の歴史	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	法学の基礎	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4	
	現代経済問題の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	現代政治の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	最前線の社会文化研究	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼7	
	現代社会の解説	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	自然と人間の地理学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	小計 (23科目)	-	0	23~46	0	1	1	0	0	0	0	兼62
	現代教養科目	数学と文化	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		物理学の世界	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		暮らしと化学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3
		化学と環境	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		最先端の生命科学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4
		地球環境科学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5
		地域づくりと科学技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4
		ものづくりの科学と技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2		1					兼5
		暮らしと情報・通信技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2			2				兼1
		健康の科学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		病気の医学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		臨床医学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		現代社会と医学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
		心身の健康と看護	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3
		医療における理工学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
現代の医学検査		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
現代医療と生命科学		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
薬科学入門		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代社会と薬学		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代教育について考える		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼9	
心理学の探求		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
芸術への招待		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代と言語		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代と文学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4		
現代世界の形成と課題	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2		
最先端の法学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1		
現代社会と経済	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4		
現代の政治	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3		
学際科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4		
小計 (29科目)	-	0	29~58	0	2	1	0	0	0	0	兼78	
M u l t i c u l t u r a l S t u d i e s	Introduction to Science and Technology I	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4	
	Introduction to Science and Technology II	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Socio-Cultural Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼7	
	World History	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Area Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼6	
	Comprehensive English Communication	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Global Career Development	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
	小計 (7科目)	-	0	7~14	0	0	0	0	0	0	0	兼10
	キャリア科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2								兼7
	小計 (1科目)	-	0	1~2	0	0	0	0	0	0	0	兼7
科目開放	開放科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼6	
	小計 (1科目)	-	0	1~2	0	0	0	0	0	0	0	兼6
法日科目	暮らしの中の憲法	2前・後	2								兼2	
	小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
専修科目	体育・スポーツ科学(b)	1・2前・後・③・④	1								兼7	
	小計 (1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼7
理系基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2								兼9	
	微分積分Ⅱ	1後	2								兼8	
	線形代数Ⅰ	1前	2		1						兼8	
	線形代数Ⅱ	1後	2								兼7	
	小計 (4科目)	-	8	0	0	0	1	0	0	0	0	兼18
小計 (121科目)	-	17	111~172	0	3	3	0	0	0	0	兼225	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				責任・単用	
			必	選	目	教	専	講	助	助		
			修	担	由	師	員	員	員	員		
リベラルアーツ科目	日本社会の歴史	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	法学の基礎	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	現代経済問題の諸相 (未開講)	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	現代政治の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	最前線の社会文化研究	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼9	
	現代社会の解説	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4	
	自然と人間の地理学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
	小計 (26科目)	-	0	26~62	0	1	1	0	0	0	0	兼74
	現代教養科目	数学と文化	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
		物理学の世界	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
		暮らしと化学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4
		化学と環境	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3
		最先端の生命科学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5
		地球環境科学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5
		地域づくりと科学技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4
		ものづくりの科学と技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2		1					兼5
		暮らしと情報・通信技術	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2			3				兼1
		健康の科学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		病気の医学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		臨床医学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2
		現代社会と医学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
		心身の健康と看護	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3
		医療における理工学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1
現代の医学検査		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
現代医療と生命科学		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
薬科学入門		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代社会と薬学		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
現代教育について考える		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼8	
心理学の探求		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
芸術への招待		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代と言語		1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
現代と文学	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4		
現代世界の形成と課題	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4		
最先端の法学 (未開講)	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1		
現代社会と経済	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3		
現代の政治	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5		
学際科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼6		
小計 (29科目)	-	0	29~58	0	3	1	0	0	0	0	兼94	
M u l t i c u l t u r a l S t u d i e s	Introduction to Science and Technology I	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼4	
	Introduction to Science and Technology II	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Socio-Cultural Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5	
	World History	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Academic Foundations	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼3	
	Area Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼5	
	Comprehensive English Communication	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼1	
	Global Career Development	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼2	
	小計 (8科目)	-	0	8~16	0	0	0	0	0	0	0	兼8
	キャリア科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2								兼9
小計 (1科目)	-	0	1~2	0	0	0	0	0	0	0	兼9	
科目開放	開放科目	1・2前・後・①・②・③・④	1	又は2							兼6	
	小計 (1科目)	-	0	1~2	0	0	0	0	0	0	0	兼6
法日科目	暮らしの中の憲法	2前・後	2								兼3	
	小計 (1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼3
専修科目	体育・スポーツ科学(b)	1・2前・後・③・④	1								兼7	
	小計 (1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼7
理系基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2								兼7	
	微分積分Ⅱ	1後	2								兼7	
	線形代数Ⅰ	1前	2		1						兼7	
	線形代数Ⅱ	1後	2								兼7	
	小計 (4科目)	-	8	0	0	0	1	0	0	0	0	兼16
小計 (126科目)	-	17	116~180	0	4	2	0	0	0	0	兼278	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼用	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
												専任
工学基礎科目	物理・化学Ⅰ	1①	2			1						
	物理・化学Ⅱ	1③	2			1						
	工学基礎実験	1①・②	1			1						
	数学演習Ⅰ	1①・②	1					1				
	数学演習Ⅱ	1③・④	1					1				
	データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論	3①	2			1						
小計(6科目)	—	9	0	0	3	1	0	2	0			
工学英語科目	工学英語Ⅰ	2①・②	1			1						
	工学英語Ⅱ	2③・④	1			1						
	工学英語Ⅲ	3①・②	1			1						
	工学英語Ⅳ	3③・④	1			1						
小計(4科目)	—	4	0	0	2	0	0	0	0			
関連科目C	社会と企業	1③・④	2			4						
	インターンシップ	3①・②・③・④	2			4						
小計(2科目)	—	2	2	0	4	0	0	0	0			
課程基礎科目	半導体概論	1③	1			1						
	論理回路	1③	2			1						
	論理回路演習	1③	1					1				
	電気回路Ⅰ	1④	2			1						
	電気回路演習Ⅰ	1④	1					1				
	プログラミング方法論	1④	2			1						
	プログラミング演習	1④	1					1				
	固体エレクトロニクス基礎	2①	2			1						
	電磁気Ⅰ	2②	2			1						
	電磁気学演習Ⅰ	2②	1					1				
	微分方程式	2②	2			1						
	ベクトル解析	2③	2			1						
	確率統計	2③	2			1						
	フーリエ解析	2④	2			1						
	工学倫理	2③・④	2								兼1	
	安全工学	3①・②	2			1						
	知的財産権	4①・②	2									兼1
	クリエイティブデザイン基礎	2③・④	2			1						
小計(18科目)	—	25	6	0	6	6	0	4	0		兼2	
専門科目	電気回路Ⅱ	2①	2			1						
	電気回路演習Ⅱ	2①	1			1						
	情報理論	2①	2			1						
	コンピュータシステム論	2③	2			1						
	化学物質管理	2①	1			1						
	物性物理学基礎	2①	2			1						
	結晶回折学	2②	2			1						
	物性物理学	2③	2			1						
	固体内の拡散	2③	2			1						
	状態図と熱力学	2③	2			1						
	有機化学基礎	2③	2			1						
	無機化学基礎	2④	2			1						
	アナログ電子回路	2③	2			1						
	電気計測	2③	2			1						
	電磁気Ⅱ	2④	2			1						
	電磁気学演習Ⅱ	2④	1					1				
	半導体デバイスⅠ	2④	2			1						
	半導体デバイスⅡ	3①	2			1						
	半導体プロセスⅠ	2④	2			1						
	半導体プロセスⅡ	3①	2			1						
	伝熱工学	3①	2			1						
	流体力学Ⅰ	3①	2			1						
	電気化学	3②	2			1						
	量子力学	3②	2			1						
	電子材料工学	3②	1			1						
	デジタル電子回路	3②	2			1						
	信号処理	3②	2			1						
	電気電子材料	3③	2			1						
	集積システム設計学	3③	2			1						
	プラズマ工学	3②	2			1						
	流体力学Ⅱ	3③	2			1						
	流体機械	3③	2			1						
	パワーエレクトロニクス	3④	2			1						
	半導体実装信頼性工学	3④	2			1						
機器分析学	3④	1			1							
半導体工学実験Ⅰ	2①・②	1			1							
半導体工学実験Ⅱ	2③・④	1			1							
半導体実習	3①・②・③・④	1			4							
産学連携PBL	3①・②・③・④	1			4							
卒業研究	4①・②・③・④	8			4							
小計(40科目)	—	19	58	0	15	16	0	1	0			
小計(70科目)	—	59	66	0	20	21	0	5	0		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼用	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
												専任
工学基礎科目	物理・化学Ⅰ	1①	2			1						
	物理・化学Ⅱ	1③	2			1						
	工学基礎実験	1①・②	1			1						
	数学演習Ⅰ	1①・②	1					1				
	数学演習Ⅱ	1③・④	1					1				
	データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論	3①・②	2			1						
小計(6科目)	—	9	0	0	4	2	0	0	0			
工学英語科目	工学英語Ⅰ	2①・②	1			1						
	工学英語Ⅱ	2③・④	1			1						
	工学英語Ⅲ	3①・②	1			1						
	工学英語Ⅳ	3③・④	1			1						
小計(4科目)	—	4	0	0	3	0	0	0	0			
関連科目C	社会と企業	1③・④	2			4						
	インターンシップ	3①・②・③・④	2			4						
小計(2科目)	—	2	2	0	4	2	0	0	0			
課程基礎科目	半導体概論	1③	1			1						
	論理回路	1③	2			1						
	論理回路演習	1③	1					1				
	電気回路Ⅰ	1④	2			1						
	電気回路演習Ⅰ	1④	1					1				
	プログラミング方法論	1④	2			1						
	プログラミング演習	1④	1					1				
	固体エレクトロニクス基礎	2①	2			1						
	電磁気Ⅰ	2②	2			1						
	電磁気学演習Ⅰ	2②	1					1				
	微分方程式	2②	2			1						
	ベクトル解析	2③	2			1						
	確率統計	2③	2			1						
	フーリエ解析	2④	2			1						
	工学倫理	2③・④	2									兼1
	安全工学	3①・②	2			1						
	知的財産権	4①・②	2									兼1
	クリエイティブデザイン基礎	2③・④	2			1						
小計(18科目)	—	25	6	0	6	6	0	5	0		兼2	
専門科目	電気回路Ⅱ	2①	2			1						
	電気回路演習Ⅱ	2①	1			1						
	情報理論	2①	2			1						
	コンピュータシステム論	2③	2			1						
	化学物質管理	2①	1			1						
	物性物理学基礎	2①	2			1						
	結晶回折学	2②	2			1						
	物性物理学	2③	2			1						
	固体内の拡散	2③	2			1						
	状態図と熱力学	2③	2			1						
	有機化学基礎	2③	2			1						
	無機化学基礎	2④	2			1						
	アナログ電子回路	2③	2			1						
	電気計測	2③	2			1						
	電磁気Ⅱ	2④	2			1						
	電磁気学演習Ⅱ	2④	1					1				
	半導体デバイスⅠ	2④	2			1						
	半導体デバイスⅡ	3①	2			1						
	半導体プロセスⅠ	2④	2			1						
	半導体プロセスⅡ	3①	2			1						
	伝熱工学	3①	2			1						
	流体力学Ⅰ	3①	2			1						
	電気化学	3②	2			1						
	量子力学	3②	2			1						
	電子材料工学	3②	1			1						
	デジタル電子回路	3②	2			1						
	信号処理	3②	2			1						
	電気電子材料	3③	2			1						
	集積システム設計学	3③	2			1						
	プラズマ工学	3②	2			1						
	流体力学Ⅱ	3③	2			1						
	流体機械	3③	2			1						
	パワーエレクトロニクス	3④	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任 講師
			必 修	選 修	日 由	教 師	電 機	講 師	助 教	助 手	期 中	期 末	
合計 (191科目)			76	177 238	0	20	21	0	5	0	兼227		
卒業要件及び履修方法													
① 教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、課程基礎科目の必修科目合計40単位を修得すること。 ② 課程応用科目の必修科目19単位、およびCOC関連科目、課程基礎科目、課程応用科目の選択科目(うち、選択必修科目17単位以上)と合わせて54単位以上、①との合計で126単位以上を修得すること。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					兼任 講師
			必 修	選 修	日 由	教 師	電 機	講 師	助 教	助 手	期 中	期 末	
合計 (195科目)			76	181 246	0	29	25	0	6	0	兼280		
卒業要件及び履修方法													
① 教養教育科目32単位以上、工学基礎科目、工学英語科目、COC関連科目、課程基礎科目の必修科目合計40単位を修得すること。 ② 課程応用科目の必修科目19単位、およびCOC関連科目、課程基礎科目、課程応用科目の選択科目(うち、選択必修科目17単位以上)と合わせて54単位以上、①との合計で126単位以上を修得すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるよう)にしてください。
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「[※]」、「臨地実務実習」による授業科目には「[臨]」、「連携実務実習」による授業科目には「[連]」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例: 記載順) [認可時又は届出時] → [令和6年度] (新) → [令和5年度] (新) → [令和4年度] (新) → [令和3年度] (旧) → [令和6年度] (旧) → [令和5年度] (旧)
- (1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

カリキュラム編成の調整により、「データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論」の配当年次を「3①」から「3①・②」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「クリエイティブデザイン基礎」の配当年次を「2③・④」から「2④」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「固体内の拡散」の配当年次を「2③」から「2④」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「産学連携PBL」の配当年次を「3①・②・③・④ 4①・②・③・④」から「3④」に変更。
教育上の効果が高めるため、「数学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「数学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「社会と企業」の専任教員等の配置を「教授4」から「准教授1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「インタラクション」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授4、准教授1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「電気回路Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「電磁気学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「クリエイティブデザイン基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「半導体プロセスⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「ディジタル電子回路」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「半導体工学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「半導体工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「半導体実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授7」から「教授5、准教授6」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「産学連携PBL」の専任教員等の配置を「教授4、准教授7」から「教授1、准教授1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4、准教授7」から「教授5、准教授6」に変更。
教育上の効果が高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼14」から「兼17」に変更。
教育上の効果が高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼20」から「兼22」に変更。
教育上の効果が高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼17」から「兼18」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更。
教育上の効果が高めるため、「英語e」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼13」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「ドイツ語Ⅱ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「ドイツ語Ⅱ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「フランス語Ⅰ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「フランス語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「中国語Ⅰ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「中国語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「ロシア語Ⅰ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「ロシア語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語Ⅱ-2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語Ⅲ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語Ⅲ-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語Ⅳ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「日本語Ⅳ-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「10Tリテラシー」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
教育上の効果が高めるため、「DSリテラシー」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
教育上の効果が高めるため、「体育・スポーツ科学(a)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼11」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「数学の世界」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
教育上の効果が高めるため、「物理学入門」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼0」から「准教授1」「兼7」に変更。
教育上の効果が高めるため、「生物の世界」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼11」に変更。
教育上の効果が高めるため、「現代心理行動学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「文学の語相」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「モノが語る歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
教育上の効果が高めるため、「地域の世界史」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「法学の基礎」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「最前線の社会文化研究」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更。
教育上の効果が高めるため、「現代社会の解説」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「自然と人間の地理学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「数学と文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「物理学の世界」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「暮らしと化学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
教育上の効果が高めるため、「化学と環境」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「最先端の生命科学」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
教育上の効果が高めるため、「暮らしと情報・通信技術」の専任教員等の配置を「教授2」「兼1」から「教授3」「兼1」に変更。
教育上の効果が高めるため、「現代社会と薬学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼8」に変更。
教育上の効果が高めるため、「現代世界の形成と課題」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「現代社会と経済」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「現代の政治」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
教育上の効果が高めるため、「学際科目」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「Socio-Cultural Studies」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「Area Studies」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
教育上の効果が高めるため、「キャリア科目」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更。
教育上の効果が高めるため、「暮らしの中の憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
教育上の効果が高めるため、「体育・スポーツ科学(b)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「微積分Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼7」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「微積分Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「線形代数Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼8」から「兼7」に変更。
カリキュラム編成の調整により、「線形代数Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
教育上の効果が高めるため、「文系のための数学入門」を新設
教育上の効果が高めるため、「地球環境の現状と人類」を新設
教育上の効果が高めるため、「言語の語相」を新設
教育上の効果が高めるため、「Academic Foundations」を新設

- (注) ・ 2(1) ①-② 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	146 科目	0 科目	191 科目	45 科目 []	150 科目 [4]	0 科目 []	195 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本語C-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
2	日本語C-2	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
3	英語 I-1	1	1前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「英語 I-2, II-1, II-2」）
4	フランス語Ⅲ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「フランス語 I-1, I-2」）
5	フランス語Ⅲ-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「フランス語 I-1, I-2」）
6	中国語Ⅱ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「中国語 I-1, I-2」）
7	中国語Ⅱ-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「中国語 I-1, I-2」）
8	日本語 I-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「日本語 I-2, II-2, III-1, III-2, IV-1, IV-2」）
9	日本語Ⅱ-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「日本語 I-2, II-2, III-1, III-2, IV-1, IV-2」）
10	現代経済問題の諸相	1又は2	1・2前・後・①・②・③・④	一般	選択	休講、代替措置無
11	最先端の法学	1又は2	1・2前・後・①・②・③・④	一般	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記の未開講科目は全て教養教育の科目である。工学部半導体デバイス工学課程の学生の教養教育の卒業要件単位は32単位であり、学修時間の確保のために、教養教育における履修登録上限の制限を課しており、工学部半導体デバイス工学課程については、1年通算で前学期修得単位数を含めて16単位の制限としている。そういった状況の中、年間開講の科目においては、学内リソースを効率的、効果的に活用できるようにしつつ、学生がより最先端のトピックを学修できるように、また、学生にとってわかりやすいように、提供科目を厳選して開講しており、結果として、未開講科目が11科目となっている。

設置の趣旨等を記載した書類の中で、「教養教育の実施方針及び教育課程編成上の工夫」として説明したとおり、「幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探究能力を備えた人材の育成を目的とする本学の学士課程全体の方針に基づき、本学が定める7つの学修成果（豊かな教養、確かな専門性、創造的な知性、社会的な実践力、グローバルな視野、情報通信技術の活用力、汎用的な知力）達成すべく編成・実施された教育課程の一環として、大学教育統括管理運営機構が定める方針に従い実施」しており、7つの学修成果に沿った科目毎に、授業科目（授業テーマ別等）を、1科目以上開講し、卒業要件単位32単位に対して、単位数400単位以上にも及び科目数を開講しており、本課程が掲げる人材養成や体系的な教育課程の編成には影響はないと考えている。

なお、学生への周知方法としては、開講する科目の時間割表を配付し、さらに掲示版に最新の時間割表を貼付すること等により、十分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{191} = \boxed{5.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	放送大学熊本学習センターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人熊本テクノポリス財団 地上権設定期間：H29. 9. 1から3年間19,945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29. 4. 1からH30. 3. 31（以降、毎年度更新）494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H30. 10. 1からR2. 9. 30（以降、毎年度更新）331㎡		
	校舎敷地	475,024(20,770)㎡	623㎡	0㎡	475,647(20,770)㎡			
	運動場用地	39,752(0)㎡	0㎡	0㎡	39,752(0)㎡			
	小 計	514,776(20,770)㎡	623㎡	0㎡	515,399(20,770)㎡			
	そ の 他	144,293(0)㎡	0㎡	0㎡	144,293(0)㎡			
	合 計	659,069(20,770)㎡	623㎡	0㎡	659,692(20,770)㎡			
(2) 校 舎	専 用	457,740㎡	0㎡	1,112㎡	458,852㎡	放送大学熊本学習センターの専用1,112㎡		
	(457,740㎡)	(0㎡)	(1,112㎡)	(458,852㎡)				
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	122室	90室	1,206室	9室 (補助職員 6人)	13室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部半導体デバイス工学課程			46 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	工学部半導体デバイス工学課程	1,255,975 [482,340]	21,266 [7,207]	17,031 [15,706]	2,184	67,684	35	
	(1,255,975 [482,340])	(21,266 [7,207])	(17,031 [15,706])	(2,184)	(67,684)	(35)		
	計	1,255,975 [482,340]	21,266 [7,207]	17,031 [15,706]	2,184	67,684	35	
		(1,255,975 [482,340])	(21,266 [7,207])	(17,031 [15,706])	(2,184)	(67,684)	(35)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	12,347㎡		936		1,035,084			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	8,245 ㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	熊本大学										収容定員充足率0.75以下の学科数	0	収容定員充足率1.15以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	170	10	700		1.10	1.04	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号				
総合人間学科	4	55	-	220	学士(文学)	1.12	1.07	-	平成17	同上				
歴史学科	4	35	-	140	学士(文学)	1.10	1.05	-	平成17	同上				
文学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.03	0.99	-	平成17	同上				
コミュニケーション情報学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.34	1.22	-	平成17	同上				
学部共通	4		3年次10	20	学士(文学)	-	-	-	平成11	同上				
教育学部	4	220	-	660		1.05	-	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号				
学校教育教員養成課程	4	220	-	660	学士(教育学)	1.05	-	-	令和4	同上				
小学校教員養成課程	4	-	-	110	学士(教育学)	-	-	-	昭和24	同上	令和4年度より学生募集停止			
中学校教員養成課程	4	-	-	70	学士(教育学)	-	-	-	昭和24	同上	令和4年度より学生募集停止			
特別支援教育教員	4	-	-	20	学士(教育学)	-	-	-	平成19	同上	令和4年度より学生募集停止			
養護教諭養成課程	4	-	-	30	学士(教育学)	-	-	-	昭和52	同上	令和4年度より学生募集停止			
法学部	4	200	10	850		1.05	1.00	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号				
法学科	4	200	-	830	学士(法学)	1.05	1.00	-	平成16	同上	入学定員減			
学部共通			3年次10	20	学士(法学)	-	-	-	平成12	同上				
理学部	4	190	-	790		1.09	1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号				
理学科	4	190	-	790	学士(理学)	1.09	1.02	-	平成16	同上	入学定員減			
医学部														
医学科	6	110	-	665	学士(医学)	1.07	1.01	令和5	昭和24	熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号	収容定員変更			
保健学科	4	144	-	576	学士(看護学・保健学)	1.06	1.03	-	平成15	熊本県熊本市中央区九品寺4丁目24番1号				
保健学科共通			3年次16	32	学士(看護学・保健学)	-	-	-	平成18	同上				
薬学部														
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.06	1.03	-	平成18	熊本県熊本市中央区大江本町5番1号				
創薬・生命薬科学科	4	35	-	140	学士(創薬科学・生命薬科学)	1.10	1.07	-	平成18	同上				
工学部	4	473	65	2142		1.08	1.02	-		熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号				
土木建築学科	4	118	3年次10	510	学士(工学)	1.09	1.04	-	平成30	同上	入学定員減			
機械数理工学科	4	101	3年次10	450	学士(工学)	1.10	1.02	-	平成30	同上	入学定員減			
情報電気工学科	4	112	3年次20	614	学士(工学)	1.07	1.00	-	平成30	同上	入学定員減			
材料・応用化学科	4	122	3年次5	528	学士(工学)	1.06	1.01	-	平成30	同上	入学定員減			
半導体デバイス工学課程	4	20	3年次20	40	学士(工学)	1.10	-	-	令和6	同上				
物質生命化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止			
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止			
機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止			
情報電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止			
学部共通			3年次-	-	学士(工学)	-	-	-	平成10	同上	平成30年度より学生募集停止			
情報融合学環	4	60	-	60	学士(情報学)	1.13	-	-	令和6	熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず赤字にしてください**。当該設定は、**学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません**。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<工学部 半導体デバイス工学課程>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学部長)	連川貞弘 <令和6年4月> 工学博士	結晶回折学 状態図と熱力学
専	教授	青柳昌宏 <令和6年4月> 博士(工学)	社会と企業 インターンシップ 半導体概論 半導体実装信頼性工学 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	伊賀崎伴彦 <令和6年4月> 博士(工学)	工学基礎実験 クリエイティブデザイン基礎 日々の生活に垣間見る情報と通信
専	教授	厄崎太樹 <令和6年4月> 博士(工学)	データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論 デジタル電子回路 暮らしと情報・通信技術
専	教授	飯田全広 <令和6年4月> 博士(工学)	論理回路
専	教授	伊田進太郎 <令和6年4月> 博士(工学)	無機化学基礎
専	教授	川原顕磨呂 <令和6年4月> 博士(工学)	流体力学 I
専	教授	公文誠 <令和6年4月> 博士(情報学)	信号処理
専	教授	上瀬剛 <令和6年4月> 博士(工学)	プログラミング方法論
専	教授	小林牧子 <令和6年4月> 外国の博士号 (Ph. D.)	工学英語 I 工学英語 II 固体エレクトロニクス基礎 半導体工学実験 I 半導体工学実験 II

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	連川貞弘 <令和6年4月> 工学博士	結晶回折学 状態図と熱力学
専	教授	青柳昌宏 <令和6年4月> 博士(工学)	インターンシップ 半導体概論 半導体実装信頼性工学 半導体実習 卒業研究
専	教授	伊賀崎伴彦 <令和6年4月> 博士(工学)	工学基礎実験 工学英語 I 工学英語 II 日々の生活に垣間見る情報と通信
専	教授	厄崎太樹 <令和6年4月> 博士(工学)	
専	教授	飯田全広 <令和6年4月> 博士(工学)	論理回路
専	教授	伊田進太郎 <令和6年4月> 博士(工学)	無機化学基礎
専	教授	川原顕磨呂 <令和6年4月> 博士(工学)	流体力学 I
専	教授	公文誠 <令和6年4月> 博士(情報学)	信号処理
専	教授	上瀬剛 <令和6年4月> 博士(工学)	プログラミング方法論
専	教授	小林牧子 <令和6年4月> 外国の博士号 (Ph. D.)	数学演習 II 固体エレクトロニクス基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤幸生 <令和6年4月> 博士(科学)
		社会と企業 インターンシップ 機器分析学 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	高藤誠 <令和6年4月> 博士(学術)
		有機化学基礎
専	教授	常田明夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		情報理論 アナログ電子回路
専	教授	野口祐二 <令和6年4月> 博士(工学)
		社会と企業 インターンシップ 電気電子材料 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	福迫武 <令和6年4月> 博士(工学)
		電磁気学Ⅱ
専	教授	藤吉孝則 <令和6年4月> 工学博士
		物理・化学Ⅱ 量子力学
専	教授	松田元秀 <令和6年4月> 工学博士
		社会と企業 インターンシップ 物性物理学基礎 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	松永信智 <令和6年4月> 博士(学術)
		微分方程式 暮らしと情報・通信技術
専	教授	光本文秋 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気計測 パワーエレクトロニクス
専	教授	矢野憲一 <令和6年4月> 博士(理学)
		工学英語Ⅲ 工学英語Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤幸生 <令和6年4月> 博士(科学)
		インターンシップ 機器分析学 半導体実習 卒業研究
専	教授	高藤誠 <令和6年4月> 博士(学術)
		有機化学基礎
専	教授	常田明夫 <令和6年4月> 博士(工学)
		情報理論 アナログ電子回路 暮らしと情報・通信技術
専	教授	野口祐二 <令和6年4月> 博士(工学)
		インターンシップ 電気電子材料 半導体実習 卒業研究 開放科目
専	教授	福迫武 <令和6年4月> 博士(工学)
		電磁気学Ⅱ
専	教授	藤吉孝則 <令和6年4月> 工学博士
		物理・化学Ⅱ 量子力学
専	教授	松田元秀 <令和6年4月> 工学博士
		インターンシップ 物性物理学基礎 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	松永信智 <令和6年4月> 博士(学術)
		微分方程式 暮らしと情報・通信技術
専	教授	光本文秋 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気計測 暮らしと情報・通信技術
専	教授	矢野憲一 <令和6年4月> 博士(理学)
		工学英語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	久保木 猛 <令和6年4月> 博士(情報学)
		半導体デバイスⅡ 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	瀬戸 謙修 <令和6年4月> 博士(工学)
		集積システム設計学
専	准教授	松尾 拓紀 <令和6年4月> 博士(学術)
		半導体デバイスⅠ 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	百瀬 健 <令和6年4月> 博士(工学)
		半導体プロセスⅡ 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	岩佐 学 <令和6年4月> 博士(数理学)
		確率統計 線形代数Ⅰ
専	准教授	王斗 聡 <令和6年4月> 博士(工学)
		プラズマ工学
専	准教授	大川 猛 <令和6年4月> 博士(工学)
		半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	岡島 寛 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 電気回路演習Ⅱ
専	准教授	久我守 弘 <令和6年4月> 工学博士
		コンピュータシステム論
専	准教授	小糸 康志 <令和6年4月> 博士(工学)
		伝熱工学
専	准教授	嵯峨 智 <令和6年4月> 博士(情報理工学)
		フーリエ解析

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	久保木 猛 <令和6年4月> 博士(情報学)
		半導体デバイスⅡ 半導体実習 卒業研究
専	准教授	松尾 拓紀 <令和6年4月> 博士(学術)
		データサイエンス・データエンジニアリング・AI概論 インターンシップ 半導体デバイスⅠ 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	教授	百瀬 健 <令和6年4月> 博士(工学)
		半導体プロセスⅡ 半導体実習 卒業研究
専	准教授	岩佐 学 <令和6年4月> 博士(数理学)
		確率統計
専	准教授	王斗 聡 <令和6年4月> 博士(工学)
		プラズマ工学
専	准教授	大川 猛 <令和6年4月> 博士(工学)
		集積システム設計学 半導体実習 卒業研究
専	准教授	岡島 寛 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気回路Ⅱ 電気回路演習Ⅱ
専	准教授	久我守 弘 <令和6年4月> 工学博士
		コンピュータシステム論
専	准教授	小糸 康志 <令和6年4月> 博士(工学)
		伝熱工学
専	准教授	嵯峨 智 <令和6年4月> 博士(情報理工学)
		フーリエ解析

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中茂 <令和6年4月> 博士(工学)
		安全工学
専	准教授	永沼伸顕 <令和6年4月> 博士(理学)
		ベクトル解析
専	准教授	浪平隆男 <令和6年4月> 博士(工学)
		物理・化学 I
専	准教授	橋新剛 <令和6年4月> 博士(工学)
		電子材料工学 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	松田光弘 <令和6年4月> 博士(工学)
		固体内の拡散
専	准教授	宗像瑞恵 <令和6年4月> 博士(工学)
		流体力学 II 流体機械 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	谷田部然治 <令和6年4月> 博士(農学)
		電磁気学 I 半導体プロセス I 半導体実習 産学連携PBL 卒業研究
専	准教授	山口佳宏 <令和6年4月> 博士(薬学)
		化学物質管理学
専	准教授	横井裕之 <令和6年4月> 工学博士
		物性物理学 物理学入門
専	准教授	吉本惣一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気化学 ものづくりの科学と技術
専	助教	福田シュンコアルバーノ <令和6年4月> 博士(工学)
		数学演習 II 論理回路演習
専	助教	木山真人 <令和6年4月> 博士(情報工学)
		プログラミング演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中茂 <令和6年4月> 博士(工学)
		安全工学
専	准教授	永沼伸顕 <令和6年4月> 博士(理学)
		ベクトル解析
専	准教授	浪平隆男 <令和6年4月> 博士(工学)
		物理・化学 I
専	准教授	橋新剛 <令和6年4月> 博士(工学)
		社会と企業 電子材料工学 半導体実習 卒業研究
専	准教授	松田光弘 <令和6年4月> 博士(工学)
		固体内の拡散
専	准教授	宗像瑞恵 <令和6年4月> 博士(工学)
		流体力学 II 半導体実習 卒業研究
専	准教授	谷田部然治 <令和6年4月> 博士(農学)
		半導体プロセス I 半導体実習 卒業研究
専	准教授	山口佳宏 <令和6年4月> 博士(薬学)
		化学物質管理学
専	准教授	横井裕之 <令和6年4月> 工学博士
		物性物理学 物理学入門
専	准教授	吉本惣一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気化学 ものづくりの科学と技術
専	助教	木山真人 <令和6年4月> 博士(情報工学)
		論理回路演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	久世竜司 <令和6年4月> 博士(工学)
		電磁気学演習 I 電磁気学演習 II
専	助教	田邊将之 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気回路演習 I
専	助教	MENDONCADOSSANTOSISRAEL <令和6年4月> 博士(工学)
		数学演習 I
兼任	教授	松瀬憲司 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	教授	HANSENKELLYJEAN <令和6年4月> PhD (アメリカ)
		英語A-1
兼任	教授	ISEMONGERIAN <令和6年4月> MA (南アフリカ)
		英語A-1
兼任	教授	島谷浩 <令和6年4月> 文学修士(アメリカ)
		英語A-2
兼任	教授	村里泰昭 <令和6年4月> 教育学修士
		英語A-2 英語B-2 英語e
兼任	教授	齋藤靖 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語 I-1
兼任	教授	折田充 <令和6年4月> PhD Swansea University, UK
		英語A-2 英語B-2
兼任	教授	平野順也 <令和6年4月> MA (学術修士) (アメリカ)
		英語A-2 英語B-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	久世竜司 <令和6年4月> 博士(工学)
		電磁気学 I 半導体工学実験 I 半導体工学実験 II
専	助教	田邊将之 <令和6年4月> 博士(工学)
		電気回路演習 I
専	助教	MENDONCADOSSANTOSISRAEL <令和6年4月> 博士(工学)
		プログラミング演習
兼任	教授	松瀬憲司 <令和6年4月> 文学修士
		英語B-1 英語B-2 英語e
兼任	教授	HANSENKELLYJEAN <令和6年4月> PhD (アメリカ)
		英語A-1 英語e
兼任	教授	ISEMONGERIAN <令和6年4月> MA (南アフリカ)
		英語A-1
兼任	教授	島谷浩 <令和6年4月> 文学修士(アメリカ)
		英語A-2 英語e
兼任	教授	村里泰昭 <令和6年4月> 教育学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語e
兼任	教授	齋藤靖 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語e 英語 I-1
兼任	教授	折田充 <令和6年4月> PhD Swansea University, UK
		英語A-2 英語B-2
兼任	教授	平野順也 <令和6年4月> MA (学術修士) (アメリカ)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語e

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鹿嶋恵 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語II-2 日本語III-2 日本語IV-2
兼任	教授	BAUERTobiasAndreas <令和6年4月> MA(ドイツ)
		ドイツ語II-1 ドイツ語II-2
兼任	教授	MicheI SAGAZ <令和6年4月> 博士(言語科学)
		フランス語I-1 フランス語I-2 フランス語III-2
兼任	教授	劉(杉谷)静華 <令和6年4月> 教育学修士
		中国語II-1 中国語II-2
兼任	教授	竹内裕 <令和6年4月> 修士(学術)
		ヘブライ語I-1 ヘブライ語I-2
兼任	教授	戸田真志 <令和6年4月> 博士(工学)
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	教授	貝瀬秀裕 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学の世界 微分積分II
兼任	教授	阿部健 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学の世界 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	安仁屋勝 <令和6年4月> 博士(学術)
		物理学入門
兼任	教授	高橋慶太郎 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門 物理学の世界
兼任	教授	市川聡夫 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鹿嶋恵 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本語C-1 日本語C-2
兼任	教授	BAUERTobiasAndreas <令和6年4月> MA(ドイツ)
		ドイツ語I-1 ドイツ語I-2 ドイツ語II-1 ドイツ語II-2
兼任	教授	MicheI SAGAZ <令和6年4月> 博士(言語科学)
		フランス語I-1 フランス語I-2 フランス語III-2
兼任	教授	劉(杉谷)静華 <令和6年4月> 教育学修士
		中国語I-1 中国語I-2 中国語II-1 中国語II-2
兼任	教授	竹内裕 <令和6年4月> 修士(学術)
		ヘブライ語I-1 ヘブライ語I-2
兼任	教授	戸田真志 <令和6年4月> 博士(工学)
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	教授	貝瀬秀裕 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学の世界
兼任	教授	阿部健 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学の世界 線形代数I 線形代数II
兼任	教授	安仁屋勝 <令和6年4月> 博士(学術)
		物理学入門
兼任	教授	高橋慶太郎 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門
兼任	教授	市川聡夫 <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松田真生 <令和6年4月> 博士(理学)
		教養の化学
兼担	教授	速水真也 <令和6年4月> 博士(理学)
		教養の化学
兼担	教授	嶋永元裕 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界
兼担	教授	北野健 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界
兼担	教授	檜垣匠 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		生物の世界
兼担	教授	相田光宏 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼担	教授	宮縁育夫 <令和6年4月> 理学博士
		持続可能な都市と地域づくり 地球環境科学の最前線
兼担	教授	鳥居修一 <令和6年4月> 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり Introduction to Science and Technology I
兼担	教授	外本和幸 <令和6年4月> 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり
兼担	教授	佐久川貴志 <令和6年4月> 博士(工学)
		日々の生活に垣間見る情報と通信
兼担	教授	八幡英幸 <令和6年4月> 博士(文学)
		倫理学入門
兼担	教授	田中朋弘 <令和6年4月> 博士(文学)
		倫理学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松田真生 <令和6年4月> 博士(理学)
		教養の化学
兼担	教授	速水真也 <令和6年4月> 博士(理学)
		教養の化学
兼担	教授	嶋永元裕 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界
兼担	教授	北野健 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界
兼担	教授	檜垣匠 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼担	教授	相田光宏 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼担	教授	宮縁育夫 <令和6年4月> 理学博士
		持続可能な都市と地域づくり 地球環境科学の最前線
兼担	教授	鳥居修一 <令和6年4月> 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり Introduction to Science and Technology I
兼担	教授	外本和幸 <令和6年4月> 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり
兼担	教授	佐久川貴志 <令和6年4月> 博士(工学)
		パワーエレクトロニクス 日々の生活に垣間見る情報と通信
兼担	教授	八幡英幸 <令和6年4月> 博士(文学)
		倫理学入門
兼担	教授	田中朋弘 <令和6年4月> 博士(文学)
		倫理学入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤中隆久 <令和6年4月> 修士(教育学)
		こころの科学
兼任	教授	黨武彦 <令和6年4月> 博士(文学)
		文学の諸相
兼任	教授	伊藤正彦 <令和6年4月> 博士(文学)
		地域の世界史
兼任	教授	稲葉継陽 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本社会の歴史
兼任	教授	岡本友子 <令和6年4月> 修士(法学)
		法学の基礎 学際科目
兼任	教授	牧野厚史 <令和6年4月> 博士(社会学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	シンジルト <令和6年4月> 博士(社会学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	山下裕作 <令和6年4月> 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	松浦雄介 <令和6年4月> 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	矢原隆行 <令和6年4月> 修士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	中川輝彦 <令和6年4月> 修士(人間科学)
		現代社会の解読
兼任	教授	鹿嶋洋 <令和6年4月> 博士(理学)
		自然と人間の地理学
兼任	教授	宮崎誓 <令和6年4月> 博士(理学)
		数学と文化
兼任	教授	島田秀昭 <令和6年4月> 薬学博士
		暮らしと化学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤中隆久 <令和6年4月> 修士(教育学)
		こころの科学
兼任	教授	稲葉継陽 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本社会の歴史
兼任	教授	岡本友子 <令和6年4月> 修士(法学)
		学際科目
兼任	教授	牧野厚史 <令和6年4月> 博士(社会学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	シンジルト <令和6年4月> 博士(社会学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	山下裕作 <令和6年4月> 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	松浦雄介 <令和6年4月> 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	教授	島田秀昭 <令和6年4月> 薬学博士
		暮らしと化学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大平慎一 <令和6年4月> 博士(理学)
		暮らしと化学 化学と環境
兼任	教授	入江亮 <令和6年4月> 博士(理学)
		暮らしと化学
兼任	教授	戸田敬 <令和6年4月> 博士(理学)
		化学と環境
兼任	教授	田邊力 <令和6年4月> 博士(理学)
		最先端の生命科学
兼任	教授	鈴伸也 <令和6年4月> 博士(医学)
		最先端の生命科学
兼任	教授	小松俊文 <令和6年4月> 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	教授	本間里見 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	大西康伸 <令和6年4月> 博士(学術)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	尾上幸造 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	丸茂康男 <令和6年4月> 工学博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	新留琢郎 <令和6年4月> 博士(理学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	藤原和人 <令和6年4月> 学術博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	安藤新二 <令和6年4月> 学術博士
		ものづくりの科学と技術 開放科目
兼任	教授	押海裕之 <令和6年4月> 博士(理学)
		病気の医科学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大平慎一 <令和6年4月> 博士(理学)
		暮らしと化学 化学と環境
兼任	教授	入江亮 <令和6年4月> 博士(理学)
		暮らしと化学
兼任	教授	戸田敬 <令和6年4月> 博士(理学)
		化学と環境
兼任	教授	田邊力 <令和6年4月> 博士(理学)
		最先端の生命科学
兼任	教授	鈴伸也 <令和6年4月> 博士(医学)
		最先端の生命科学
兼任	教授	小松俊文 <令和6年4月> 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	教授	本間里見 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	大西康伸 <令和6年4月> 博士(学術)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	丸茂康男 <令和6年4月> 工学博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	新留琢郎 <令和6年4月> 博士(理学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	藤原和人 <令和6年4月> 学術博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	安藤新二 <令和6年4月> 学術博士
		ものづくりの科学と技術 開放科目
兼任	教授	押海裕之 <令和6年4月> 博士(理学)
		病気の医科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山縣和也 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		病気の医科学
兼任	教授	日比泰造 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		臨床医学の最前線
兼任	教授	竹林実 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		臨床医学の最前線
兼任	教授	青石(長谷)恵子 ＜令和6年4月＞ 博士(看護学)
		心身の健康と看護
兼任	教授	大坪和明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代医療と生命科学
兼任	教授	杉本幸彦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		薬科学入門
兼任	教授	中島誠 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		薬科学入門
兼任	教授	三隅将吾 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	教授	中山玄三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	古田弘子 ＜令和6年4月＞ 博士(心身障害学)
		現代教育について考える 開放科目
兼任	教授	宮瀬美津子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	山城千秋 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	教授	寺本涉 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	教授	松永拓己 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		芸術への招待 キャリア科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大坪和明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代医療と生命科学
兼任	教授	杉本幸彦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		薬科学入門
兼任	教授	中島誠 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		薬科学入門
兼任	教授	三隅将吾 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	教授	中山玄三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	寺本涉 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	教授	松永拓己 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		芸術への招待 キャリア科目

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中尾健一郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と文学
兼任	教授	新井英永 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	教授	三沢純 <令和6年4月> 文学修士
		最先端の法学
兼任	教授	外川健一 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済 現代経済問題の諸相
兼任	教授	吉岡英美 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	教授	池田康弘 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	教授	大澤博明 <令和6年4月> 修士(法学)
		現代の政治
兼任	教授	QUITAINARMANDOTIBIGIN <令和6年4月> 博士(工学)
		Introduction to Science and Technology I
		Introduction to Science and Technology II
		Socio-Cultural Studies
		Area Studies
兼任	教授	岸田光代 <令和6年4月> 博士(理学)
		Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	KOIKEURSULAELENA <令和6年4月> PhD(スイス)
		Socio-Cultural Studies
		World History
		Area Studies
		Global Career Development
兼任	教授	園田隆則 <令和6年4月> Master of Law (U.S.A.)
		Global Career Development
兼任	教授	藤瀬泰司 <令和6年4月> 博士(教育学)
		キャリア科目
兼任	教授	八幡彩子 <令和6年4月> 博士(学術)
		キャリア科目

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中尾健一郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と文学
兼任	教授	新井英永 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	教授	三沢純 <令和6年4月> 文学修士
		最先端の法学 日本社会の歴史 現代世界の形成と課題
兼任	教授	外川健一 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済 現代経済問題の諸相
兼任	教授	池田康弘 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	教授	大澤博明 <令和6年4月> 修士(法学)
		現代の政治
兼任	教授	QUITAINARMANDOTIBIGIN <令和6年4月> 博士(工学)
		Introduction to Science and Technology I
		Introduction to Science and Technology II
		Socio-Cultural Studies Academic Foundations
		Area Studies
兼任	教授	岸田光代 <令和6年4月> 博士(理学)
		Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	KOIKEURSULAELENA <令和6年4月> PhD(スイス)
		Socio-Cultural Studies
		World History Academic Foundations
		Area Studies
		Global Career Development
兼任	教授	園田隆則 <令和6年4月> Master of Law (U.S.A.)
		Area Studies Global Career Development
兼任	教授	藤瀬泰司 <令和6年4月> 博士(教育学)
		キャリア科目
兼任	教授	八幡彩子 <令和6年4月> 博士(学術)
		キャリア科目

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金岡省吾 <令和6年4月> 博士(工学)
		キャリア科目
兼任	教授	前田ひとみ <令和6年4月> 博士(医学)
		キャリア科目
兼任	教授	中西義孝 <令和6年4月> 博士(工学)
		開放科目
兼任	教授	竹内裕希子 <令和6年4月> 博士(理学)
		開放科目
兼任	教授	入江徹美 <令和6年4月> 薬学博士
		開放科目
兼任	教授	井福裕俊 <令和6年4月> 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	大石康晴 <令和6年4月> 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	坂下玲子 <令和6年4月> 博士(教育学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	中内哲 <令和6年4月> 修士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	教授	鷺見直哉 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I
兼任	教授	中川泰宏 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	金大弘 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	千吉良直紀 <令和6年4月> 博士(理学)
		線形代数 I 線形代数 II

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	金岡省吾 <令和6年4月> 博士(工学)
		キャリア科目
兼任	教授	前田ひとみ <令和6年4月> 博士(医学)
		キャリア科目
兼任	教授	中西義孝 <令和6年4月> 博士(工学)
		開放科目
兼任	教授	竹内裕希子 <令和6年4月> 博士(理学)
		地域づくりと科学技術 開放科目
兼任	教授	入江徹美 <令和6年4月> 薬学博士
		開放科目
兼任	教授	井福裕俊 <令和6年4月> 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	大石康晴 <令和6年4月> 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	坂下玲子 <令和6年4月> 博士(教育学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	
兼任	教授	鷺見直哉 <令和6年4月> 博士(理学)
		線形代数 II
兼任	教授	
兼任	教授	金大弘 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	千吉良直紀 <令和6年4月> 博士(理学)
		線形代数 I 線形代数 II

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	OSHIIMAKAREN <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-1
兼任	准教授	井原健 <令和6年4月> 教育学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	松岡浩史 <令和6年4月> 修士(イギリス文学)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 現代と文学
兼任	准教授	西川里織 <令和6年4月> Doctor of Philosophy (スウェーデン)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	永尾悟 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	岡崎伸一 <令和6年4月> 修士(英語コミュニケーション)
		英語A-2 英語B-1
兼任	准教授	松本(鶴)知子 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	富村憲貴 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	山部順治 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	片山圭巳 <令和6年4月> 博士(国際広報メディア)
		英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	吉里さち子 <令和6年4月> 修士(文学)
		日本語A-2 日本語Ⅰ-2 日本語Ⅱ-2 日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	紺屋 博昭 <令和6年4月> 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	准教授	OSHIIMAKAREN <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-1
兼任	准教授	井原健 <令和6年4月> 教育学修士
		英語A-2 英語B-2 英語
兼任	准教授	松岡浩史 <令和6年4月> 修士(イギリス文学)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語 現代と文学
兼任	准教授	西川里織 <令和6年4月> Doctor of Philosophy (スウェーデン)
		英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	永尾悟 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語
兼任	准教授	岡崎伸一 <令和6年4月> 修士(英語コミュニケーション)
		英語A-2 英語B-1 英語
兼任	准教授	松本(鶴)知子 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語
兼任	准教授	富村憲貴 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-2 英語
兼任	准教授	山部順治 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	片山圭巳 <令和6年4月> 博士(国際広報メディア)
		英語B-2 英語
兼任	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	マステン眞理子 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		日本語D-1 日本語D-2 日本語I-1 日本語I-2 日本語II-1 日本語III-2 日本語IV-2
兼任	准教授	畑亜弥子 ＜令和6年4月＞ 博士(フランス文学・文明)
		フランス語Ⅲ-1
兼任	准教授	岸木敬太 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	小澄大輔 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	中島陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	村田貴広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		教養の化学
兼任	准教授	伊豆田俊二 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		生物の世界
兼任	准教授	江頭恒 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		生物の世界
兼任	准教授	杉浦直人 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	中山(寺沢)由紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	准教授	武智克彰 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	大辻正晴 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		思考と論理
兼任	准教授	川越明日香 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		現代心理行動学 学際科目
兼任	准教授	福森安太己 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		芸術文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	畑亜弥子 ＜令和6年4月＞ 博士(フランス文学・文明)
		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅲ-1 文学の諸相
兼任	准教授	岸木敬太 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	小澄大輔 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	中島陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	村田貴広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		教養の化学
兼任	准教授	伊豆田俊二 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		生物の世界
兼任	准教授	江頭恒 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		生物の世界
兼任	准教授	杉浦直人 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	中山(寺沢)由紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	准教授	武智克彰 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	大辻正晴 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		思考と論理
兼任	准教授	川越明日香 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		現代心理行動学 学際科目
兼任	准教授	福森安太己 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		芸術文化論

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山田高誌 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		芸術文化論
兼任	准教授	跡上史郎 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		文学の諸相
兼任	准教授	久保田慎二 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		モノが語る歴史
兼任	准教授	中川順子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		地域の世界史
兼任	准教授	安高啓明 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)
		日本社会の歴史
兼任	准教授	今村直樹 ＜令和6年4月＞ 博士(歴史学)
		日本社会の歴史
兼任	准教授	若色敦子 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学の基礎
兼任	准教授	太田寿明 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		法学の基礎
兼任	准教授	山口(阿部)幸代 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法学の基礎
兼任	准教授	及川高 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	日高利泰 ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	吉武由彩 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	下田健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(史学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	山本耕三 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	米島万有子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		自然と人間の地理学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山田高誌 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		芸術文化論
兼任	准教授	跡上史郎 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		文学の諸相
兼任	准教授	久保田慎二 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		モノが語る歴史
兼任	准教授	中川順子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		地域の世界史
兼任	准教授	安高啓明 ＜令和6年4月＞ 博士(国際文化)
		日本社会の歴史
兼任	准教授	今村直樹 ＜令和6年4月＞ 博士(歴史学)
		日本社会の歴史
兼任	准教授	若色敦子 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学の基礎
兼任	准教授	太田寿明 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		法学の基礎
兼任	准教授	山口(阿部)幸代 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法学の基礎
兼任	准教授	及川高 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	日高利泰 ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	吉武由彩 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	下田健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(史学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	山本耕三 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	米島万有子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		自然と人間の地理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	初原幸二 <令和6年4月> 博士(情報科学)
		数学と文化
兼任	准教授	小塚敏之 <令和6年4月> 工学博士
		物理学の世界
兼任	准教授	荒木正健 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		最先端の生命科学
兼任	准教授	小島知子 <令和6年4月> 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	横瀬久芳 <令和6年4月> 学術博士
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	吉武隆一 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	准教授	佐々木満 <令和6年4月> 博士(工学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	准教授	宮内肇 <令和6年4月> 工学博士
		暮らしと情報・通信技術
兼任	准教授	入谷仁士 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康の科学
兼任	准教授	長谷真 <令和6年4月> 博士(理学)
		健康の科学
兼任	准教授	古川昇 <令和6年4月> 博士(医学)
		現代社会と医学
兼任	准教授	城野博史 <令和6年4月> 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	准教授	北川雅浩 <令和6年4月> 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	中迫(北後)由実 <令和6年4月> 博士(学術)
		現代教育について考える
兼任	准教授	藤井美保 <令和6年4月> 教育学修士
		現代教育について考える

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	初原幸二 <令和6年4月> 博士(情報科学)
		数学と文化
兼任	准教授	小塚敏之 <令和6年4月> 工学博士
		物理学の世界
兼任	准教授	荒木正健 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		最先端の生命科学
兼任	准教授	小島知子 <令和6年4月> 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	横瀬久芳 <令和6年4月> 学術博士
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	吉武隆一 <令和6年4月> 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	准教授	佐々木満 <令和6年4月> 博士(工学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	准教授	宮内肇 <令和6年4月> 工学博士
		暮らしと情報・通信技術
兼任	准教授	入谷仁士 <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康の科学
兼任	准教授	長谷真 <令和6年4月> 博士(理学)
		健康の科学
兼任	准教授	古川昇 <令和6年4月> 博士(医学)
		現代社会と医学
兼任	准教授	城野博史 <令和6年4月> 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	准教授	北川雅浩 <令和6年4月> 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	中迫(北後)由実 <令和6年4月> 博士(学術)
		現代教育について考える
兼任	准教授	藤井美保 <令和6年4月> 教育学修士
		現代教育について考える

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	増田仁 <令和6年4月> 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	吉村昇 <令和6年4月> 修士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	安村明 <令和6年4月> 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	准教授	赤木恭子 <令和6年4月> 博士(教育学)
		芸術への招待
兼任	准教授	山下真里 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と言語
兼任	准教授	仁野平智明 <令和6年4月> 修士(教育学)
		現代と文学
兼任	准教授	日高愛子 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と文学
兼任	准教授	鈴木啓孝 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	准教授	大野正久 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	准教授	阿部悠貴 <令和6年4月> 博士(政治学)
		現代の政治 開放科目
兼任	准教授	菅澤貴之 <令和6年4月> 修士(比較社会文化)
		学際科目 キャリア科目
兼任	准教授	RICKARD.JOSHUAHOUSTON <令和6年4月> Ph. D. Anthropology (英国)
		Socio-Cultural Studies Area Studies
兼任	准教授	高木康衣 <令和6年4月> 修士(法学)
		キャリア科目
兼任	准教授	坂本将基 <令和6年4月> 博士(学術)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	増田仁 <令和6年4月> 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	安村明 <令和6年4月> 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	准教授	山下真里 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と言語
兼任	准教授	仁野平智明 <令和6年4月> 修士(教育学)
		現代と文学
兼任	准教授	日高愛子 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代と文学
兼任	准教授	鈴木啓孝 <令和6年4月> 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	准教授	大野正久 <令和6年4月> 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	准教授	阿部悠貴 <令和6年4月> 博士(政治学)
		現代の政治 開放科目
兼任	准教授	菅澤貴之 <令和6年4月> 修士(比較社会文化)
		学際科目 キャリア科目
兼任	准教授	高木康衣 <令和6年4月> 修士(法学)
		キャリア科目
兼任	准教授	坂本将基 <令和6年4月> 博士(学術)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	SIMSLANDERBRYANT <令和6年4月> Bachelor of Arts, Anthropology 英語B-1 Introduction to Science and Technology I Socio-Cultural Studies Area Studies Comprehensive English Communication
兼任	講師	王勳章 <令和6年4月> 博士(学術) Socio-Cultural Studies Area Studies
兼任	講師	伊藤雅浩 <令和6年4月> 医学博士 体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	助教	AXTFLORIANALEXANDER <令和6年4月> 博士(文学) 英語A-2 英語B-1 Socio-Cultural Studies Area Studies
兼任	助教	崔相振 <令和6年4月> 修士(文学) コリア語Ⅱ-1 コリア語Ⅱ-2
兼任	助教	但馬達哉 <令和6年4月> 理学修士 生物の世界
兼任	助教	可児智美 <令和6年4月> 博士(理学) 地球環境科学の最前線
兼任	助教	金森弓枝 <令和6年4月> 博士(保健学) 心身の健康と看護
兼任	助教	谷川千春 <令和6年4月> 修士(看護学) 心身の健康と看護

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	三瓶 弘喜 <令和6年4月> 修士(文学) 地域の世界史
兼任	准教授	秋月 百合 <令和6年4月> 博士(保健学) 健康の科学
兼任	講師	SIMSLANDERBRYANT <令和6年4月> Bachelor of Arts, Anthropology 英語B-1 Introduction to Science and Technology I Socio-Cultural Studies Academic Foundations Area Studies Comprehensive English Communication
兼任	講師	伊藤雅浩 <令和6年4月> 医学博士 体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	講師	土肥 勲嗣 <令和6年4月> 修士(法学) 現代の政治
兼任	助教	AXTFLORIANALEXANDER <令和6年4月> 博士(文学) 英語A-2 英語B-1 Socio-Cultural Studies Area Studies
兼任	助教	崔相振 <令和6年4月> 修士(文学) コリア語Ⅰ-2 コリア語Ⅱ-1 コリア語Ⅱ-2 地域の世界史
兼任	助教	但馬達哉 <令和6年4月> 理学修士 生物の世界
兼任	助教	可児智美 <令和6年4月> 博士(理学) 地球環境科学の最前線

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	辻田直子 <令和6年4月> 修士(保健学)
		医療における理工学
兼任	助教	松尾祐一 <令和6年4月> 博士(医学)
		現代の医学検査
兼任	助教	梶原隆太郎 <令和6年4月> 博士(保健学)
		現代医療と生命科学
兼任	助教	HARIPRASADDEVKOTA <令和6年4月> 博士(薬学)
		Socio-Cultural Studies
兼任	講師	池田志郎 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	LaskowskiTerry <令和6年4月> 博士(応用言語学)
		英語A-1 英語I-2
兼任	講師	ギルバートリチャード <令和6年4月> PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	アームストロングレイモンドクレグ <令和6年4月> 修士(応用言語学)
		英語A-1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	辻田直子 <令和6年4月> 修士(保健学)
		医療における理工学
兼任	助教	松尾祐一 <令和6年4月> 博士(医学)
		現代の医学検査
兼任	助教	梶原隆太郎 <令和6年4月> 博士(保健学)
		現代医療と生命科学
兼任	助教	HARIPRASADDEVKOTA <令和6年4月> 博士(薬学)
		Socio-Cultural Studies
兼任	助教	右田 雅裕 <令和6年4月> 博士(工学)
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	助教	山野 ケン陽次郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		モノが語る歴史
兼任	助教	吉信 公美子 <令和6年4月> 博士(生命科学)
		最先端の生命科学
兼任	助教	山本 麻起子 <令和6年4月> 博士(看護学)
		心身の健康と看護
兼任	助教	那須 信 <令和6年4月> 博士(理学)
		心身の健康と看護
兼任	特定 事業 教員	入江 英也 <令和6年4月>
		開放科目55
兼任	講師	池田志郎 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	LaskowskiTerry <令和6年4月> 博士(応用言語学)
		英語A-1 英語I-2
兼任	講師	ギルバートリチャード <令和6年4月> PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	アームストロングレイモンドクレグ <令和6年4月> 修士(応用言語学)
		英語A-1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ノーマンジョシュライアン <令和6年4月> 博士(公共政策学)
		英語A-1
兼任	講師	トーネトッド <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-1
兼任	講師	ローゼンアランデイヴィッド <令和6年4月> PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	隈元真広 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	田口誠一 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	登田龍彦 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	島村恭輔 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	齊木愛子 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	鈴木運一 <令和6年4月> 文学修士
		英語B-1
兼任	講師	角田俊治 <令和6年4月> 文学修士
		英語B-2
兼任	講師	中村直美 <令和6年4月> 修士(法学)
		日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	岩佐銘江 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
兼任	講師	荻野藏平 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
兼任	講師	葉陵陵 <令和6年4月> 博士(法学)
		中国語 I-1 中国語 I-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ノーマンジョシュライアン <令和6年4月> 博士(公共政策学)
		英語A-1
兼任	講師	トーネトッド <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-1
兼任	講師	ローゼンアランデイヴィッド <令和6年4月> PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	隈元真広 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		英語B-1 英語B-2
兼任	講師	田口誠一 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	登田龍彦 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	島村恭輔 <令和6年4月> 博士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	齊木愛子 <令和6年4月> 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	鈴木運一 <令和6年4月> 文学修士
		英語A-2
兼任	講師	角田俊治 <令和6年4月> 文学修士
		英語B-2
兼任	講師	中村直美 <令和6年4月> 修士(法学)
		日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
兼任	講師	岩佐銘江 <令和6年4月> 修士(文学)
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
兼任	講師	
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛教燦 <令和6年4月> 博士(文学)
		コリア語 I-1 コリア語 I-2
兼任	講師	太田丈太郎 <令和6年4月> 文学修士
		ロシア語 I-1 ロシア語 I-2
兼任	講師	デレオンフロレスルースデルカルメ <令和6年4月> 学士(法学)
		スペイン語 I-1 スペイン語 I-2 スペイン語 II-1 スペイン語 II-2
兼任	講師	田上恭子 <令和6年4月> 教育学修士
		イタリア語 I-1 イタリア語 I-2
兼任	講師	国越道貴 <令和6年4月> 博士(文学)
		ラテン語 I-1 ラテン語 I-2
兼任	講師	中村謙太 <令和6年4月> 博士(数学)
		数学の世界 微分積分 I 微分積分 II
兼任	講師	岡部勉 <令和6年4月> 博士(文学)
		心と世界
兼任	講師	山田雅彦 <令和6年4月> 文学博士
		地域の世界史
兼任	講師	金子秀聡 <令和6年4月> 経済学学士
		現代政治の諸相
兼任	講師	村坂亮 <令和6年4月> 学士(経済)
		学際科目
兼任	講師	中嶋弘二 <令和6年4月> 教育学士
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	講師	森口千弘 <令和6年4月> 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	講師	佐川侑司 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I 線形代数 I 線形代数 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辛教燦 <令和6年4月> 博士(文学)
		コリア語 I-1 コリア語 I-2
兼任	講師	太田丈太郎 <令和6年4月> 文学修士
		ロシア語 I-1 ロシア語 I-2
兼任	講師	デレオンフロレスルースデルカルメ <令和6年4月> 学士(法学)
		スペイン語 I-1 スペイン語 I-2 スペイン語 II-1 スペイン語 II-2
兼任	講師	田上恭子 <令和6年4月> 教育学修士
		イタリア語 I-1 イタリア語 I-2
兼任	講師	国越道貴 <令和6年4月> 博士(文学)
		ラテン語 I-1 ラテン語 I-2
兼任	講師	中嶋弘二 <令和6年4月> 教育学士
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	講師	森口千弘 <令和6年4月> 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	講師	佐川侑司 <令和6年4月> 博士(理学)
		微分積分 I 線形代数 I 線形代数 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	水月 晃 <令和6年4月> 体育・スポーツ科学(a)
			兼任	講師	柿原 一貴 <令和6年4月> 体育・スポーツ科学(a)
			兼任	講師	横田 浩 <令和6年4月> 体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
			兼任	講師	金原 宏明 <令和6年4月> 暮らしの中の憲法
			兼任	講師	藤井 太郎 <令和6年4月> 博士(文学) 地域の世界史
			兼任	講師	鈴木 桂樹 <令和6年4月> 修士(法学) 現代の政治
			兼任	講師	渡邊 元生 <令和6年4月> 学際科目
			兼任	講師	高口 謙幸 <令和6年4月> 経済学士 キャリア科目
			兼任	講師	阿部 誠 <令和6年4月> 博士(数理学) 線形代数 I

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育上の効果を高めるため、伊賀崎伴彦教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、尼崎太樹教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、小林牧子教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐藤幸生教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、野口祐二教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松田元秀教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、光木文秋教授の担当科目を変更。
- ・昇任により、令和6年4月から百瀬准教授を教授に変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、矢野憲一教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、久保木猛准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、瀬戸謙修准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、松尾拓紀准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、大川猛准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、岡島寛准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、橋新剛准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、宗像瑞恵准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、谷田郁然准教授の担当科目を変更。
- ・退職により、稲田シュンコアルバーノ助教の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、木山真人助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、久世竜司助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、MENDONCA DOSSANTOS ISRAEL助教の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、佐久川貴志教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月諸岡健一教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月ホサノハミド教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月西本昌彦教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月佐野誠助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月大淵慶史准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月寺澤有果助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月西山勝彦准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月長名保範准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、専任として令和6年4月吉川浩行准教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、尼崎太樹教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、常田明夫教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、野口祐二教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、光木文秋教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩佐学准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、松瀬 憲司 教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、HANSEN KELLY JEAN 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、島谷 浩 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、村里 泰昭 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、齋藤 靖 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、折田 充 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、平野 順也 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鹿嶋 恵 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、BAUER Tobias Andreas 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、劉(杉谷) 静華 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、貝瀬 秀裕 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋 慶太郎 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、榎垣 匠 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、黨 武彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤 正彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、岡本 友子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、矢原 隆行 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 輝彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、鹿嶋 洋 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎 誓 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、尾上 幸造 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、押海 裕之 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山縣 和也 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、日比 泰造 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹林 実 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、青石 (長谷) 恵子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、古田 弘子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮瀬 美津子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山城 千秋 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、三沢 純 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉岡 英美 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、QUITAIN ARMANDO TIBIGIN 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、KOIKE URSULA HELENA 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、園田 隆則 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、竹内 裕希子 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、鷺見 直哉 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 泰宏 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、魚住 弘久 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 武蔵 泰雄 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中野 裕司 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 杉谷 賢一 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 慶田 勝彦 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 坂元 昌樹 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 小畑 弘己 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 斉藤 寿仁 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 渡邊 高志 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 副島 顕子 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 林 一郎 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 澤 進一郎 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三沢 正史 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 多田 光宏 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 井川 和宣 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 宇佐川 毅 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 尾池 雄一 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三浦 恭子 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 近藤 英治 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 吉田 素文 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 水牧 仁一朗 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 磯部 博志 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 児玉 望 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 後藤 知己 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 喜久山 悟 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 春田 直紀 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 紺屋 博昭 教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、井原 健 准教授の担当科目を変更。

- ・教育上の効果を高めるため、松岡 浩史 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、西川 里織 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、永尾 悟 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、岡崎 伸一 准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松本 (鶴) 知子 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、富村 憲貴 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、片山 圭巳 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉里 さち子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、マステン 真理子 准教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、畑 亜弥子 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊豆田 俊二 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 順子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、安高 啓明 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、太田 寿明 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木 正健 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮内 肇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、入谷 仁士 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、長谷 真 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、古川 昇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤井 美保 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉村 昇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、赤木 恭子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、RICKARD JOSHUA HOUSTON 准教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、北別府 悠 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、安藤 直也 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉崎 文亮 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤田 直樹 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 久保田 真一郎 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 佐竹 翔平 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 益 敏郎 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 竹中 伸夫 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 苦野 一徳 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 波多江 俊介 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 藤原 志帆 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 本吉 大介 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山本 豊 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 小林 晃 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中田 晴彦 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 鈴木 寛之 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 大坪 志子 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 池川 佳宏 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 伊藤 弘了 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中村 五月 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 横塚 志乃 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 勝呂 剛志 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 佐川 祥予 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 栗山 恵子 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三瓶 弘喜 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 秋月 百合 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、SIMS LANDER BRYANT 講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、王 勁革 講師の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 土肥 勲嗣 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、崔 相振 助教の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、金森 弓枝 助教の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、谷川 千春 助教の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 石田 雅裕 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山野 ケン陽次郎 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 吉信 公美子 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山本 麻起子 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 那須 信 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 入江 英也 特定事業教員就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、池田 志郎 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、隈元 貞広 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、登田 龍彦 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木 蓮一 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、荻野 藏平 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、葉 陸陵 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村 謙太 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山田 雅彦 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐川 侑司 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂西 文俊 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西山 雄太 講師の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 折田 充 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 岡 智典 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 甲斐 隆志 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 赤木 昌子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 ジェンキンソン ディヴィッド 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 ミナミ ウォール フィオナ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高木 スワンナ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 モーテンソン ロバート 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 カービン ウィリアム 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 馬渡 美幸 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高津 亜史 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 濱田 比呂美 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 池田 裕子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 竹下 裕俊 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 萱嶋 崇 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 大庭 理恵子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 古賀 美千留 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 山田 里香 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 キム アリン 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 金 垠周 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 與 繩 友子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 小坂 玲子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 片山 きよみ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 宮本 茂生 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 道本 ゆう子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 井崎 美代 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 水月 兎 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 柿原 一貴 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 横田 浩 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 金原 宏明 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 藤井 太郎 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 鈴木 桂樹 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 渡邊 元生 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高口 義幸 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 阿部 誠 講師就任。

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	39(工学部全体) 名
	20(工学部全体) 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
20	21	0	5	46	0	20	19	0	4	43	0
(20)	(21)	(0)	(5)	(46)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
20	19	0	4	43	0	20	19	0	4	43	0
[0]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[Δ3]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{43}{46} = \boxed{93.47} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	福田シュンコアルバーノ	R6.3	必修	数学演習Ⅱ	①	他大学転出のため就任辞退（6）			
				必修	論理回路演習	①				
2	教授	尼崎太樹	R6.3	必修	デジタル電子回路	②	他部局において副部長に任命されたため就任辞退（6）			
				選択	暮らしと情報・通信技術	①				
				選択	集積システム設計学	①				
3	准教授	瀬戸謙修	R6.3				一身上の都合のため就任辞退（6）			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	4	科目	必修	3	科目	必修	1	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	4	科目	必修	3	科目	必修	1	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{60} = 5\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1									
2									
3									
4									
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>定年退職教員に係る担当科目については、他の専任教員及び兼任教員を配置することにより、教育の質を確保している。学生への周知方法については、シラバスへの掲載や新入生ガイダンス時に授業時間割を配布すること等により、十分に周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 半導体デバイス工学課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 授業改善FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <令和5年度> 令和5年4月27日 第1回授業改善FD委員会（参加状況5名中5名） 令和5年12月21日 第2回授業改善FD委員会（参加状況5名中5名） 令和6年3月1日 第3回授業改善FD委員会（参加状況9名中7名） <令和6年度> 令和6年5月14日開催予定 第1回授業改善FD委員会</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・FD活動年間計画 ・委員の役割分担 ・ティーチングアワード評価・実施方法 ・成績評価について ・その他FDに関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・教員相互の授業参観 ・工学部優秀教育者の選考・表彰 ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施 ・5大学教育連携シンポジウムへの参加 ・FD講演会の企画・実施 ・シラバスチェック</p> <p>b 実施方法 ・教員相互の授業参観 工学部開講の全科目を対象として、教員相互の授業参観を実施し、報告書を作成する。 ・工学部優秀教育者の選考・表彰 1年～3年生の学生を対象に、授業改善アンケートを活用してティーチングアワードへの推薦を実施し、その結果を基に表彰対象となる授業担当者を表彰する。 ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施 学生と教員が、工学部優秀教育者を交え検討会を開催し、意見交換をする。 ・5大学教育連携シンポジウムへの参加（山形大学、群馬大学、愛媛大学、徳島大学、熊本大学） 教育問題に関する情報交換や工学教育の向上を目的に開催されているもので、教員と学生が、共に参加し、シンポジウムにおいて発表を行う。 ・FD講演会の企画・実施 文部科学省より講師を迎えて『学士課程教育の改善・充実等に関する近年の高等教育政策の動向』のタイトルで実施（5月）。 大学教育統括管理運営機構より講師を迎えて「学修者本位の教育に向けた反転授業の設計」のタイトルで実施（9月オンライン実施、11月対面実施）。 5大学教育連携シンポジウムにおいて、徳島大学より講師を迎えて「南海トラフ地震に備えた防災教育」のタイトルで実施（9月） ・シラバスチェック 授業改善FD委員により、シラバスチェックを実施し、その結果を評価表に記入し提出する。 提出された評価表に基づき、実施報告書を作成する。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・教員相互の授業参観 令和5年6月～令和5年12月の間に授業参観を実施し、報告書が提出された。（参加名数39名） ・工学部優秀教育者の選考・表彰 令和5年6月～令和6年2月9日「授業改善アンケート」を利用してティーチングアワードへの推薦を実施。 令和6年2月13日以降：集計、FD委員会にて候補者確認。 令和6年3月27日：教授会開催前に表彰式を実施。（被表彰者33名） ・学生・教員相互触発型授業検討会の実施 令和5年度分について、ティーチングアワード受賞教員を交え各学科において実施。 ・5大学教育連携シンポジウムへの参加</p>

- 令和5年9月14日～15日にシンポジウムを開催（当番大学：徳島大学）。
本学部から教員2名、学生2名が現地参加し、セッションでの発表を行った。
- 令和6年9月12日にシンポジウムを開催予定（当番大学：愛媛大学）。
本学部から教員2名、学生2名がオンライン参加し、セッションでの発表を予定している。
- ・FD講演会の企画・実施
 - 令和5年5月23日ハイブリッド実施（参加者184名）
 - 令和5年9月11日オンライン実施（参加者4名）
 - 令和5年9月15日ハイブリッド実施（参加者67名）
 - 令和5年11月21日対面実施（参加者18名）
- ・シラバスチェック
 - 令和5年12月5日～令和6年1月9日：授業改善FD委員会によるシラバスチェックを実施。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・例年、FD関連の事項について工学部FD活動報告書を作成し、実施結果についての分析を行うとともに、学部として情報を共有し、更なる授業改善に活用している。
 - ・FD講演会では「学修者本位の教育に向けた反転授業の設計」について講演していただき、積極的な導入に向けての参考としている。
 - ・新シラバスシステムにより作成されたシラバスがシラバスシステム構築の目的に沿ったものであるか検証した結果を次年度以降のシラバスの入力へ反映させ、教育の質の向上を図っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 有 各授業の終了時期（5月下旬、7月中旬、11月下旬、1月下旬頃）に実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 例年、実施結果については、Web上で学生及び教員へ公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年度に自己評価を行い、令和8年度中に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

p

満たしている」と判定された。次回は、令和10年度に評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。